

# 図書館だより

No.35 (H30.No.13)

2019年3月1日

## ◇2月の学年別貸出冊数

学年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
貸出冊数	173冊	209冊	120冊	52冊	22冊	3冊

総貸出冊数 641冊

## ◇開館スケジュール

原則、毎日開館です。

休館日は日・祝日と、春期休業中の土曜日< 3/3, 10, 17, 21, 24, 30, 31 >です。

春期休業中も通常通り開館していますのでどうぞご利用下さい。

## ◇《春期休業中の特別貸し出しについて》

3/12(火)～3/26(火)は、一人10冊まで借りられます。  
返却期限は4/9(火)です。  
ぜひこの機会に、気になっていた本を借りてみてください！

## ◇《直木賞フェスティバルについて》

3/1(金)～30(土)の期間、『直木賞フェス』として  
2004年～2018年の15年間の直木賞受賞作を展示しています。  
その年のベストセラーや、のちに映画化・ドラマ化されて有名になった  
作品などが多く揃っています。ぜひご覧ください！

※直木賞とは…1934年、文芸春秋の社長だった菊池寛が、  
すでに故人となっていた友人、直木三十五の大衆文学の  
質の向上の功績を讃えて設立した文学賞。年2回授賞。  
純文学の「芥川賞」とともに作家の登竜門となっている。

## ◎お知らせ 《返却していない本はありませんか？》

3/5(火)に返却期限を超えて本を返していない人に対して督促状を出します。

返さなければいけない本を持っていませんか？

返却期限切れの本をまだ返していない人は、遅くとも今週中に返却して下さい。

また、呼出状(レッドカード…2回督促状をもらっても返却していない場合に配布)をもらった人は、本の返却と共に、指導を受けに来館するようにしてください。

**図書館を利用するに当たっては、ルールをきちんと守りましょう！**

延滞(未返却)はその最大のルール違反です。次にその本を借りたいと待っている人にも大きな迷惑をかけています。もし、「借りた覚えが無い!」「本が見当たらない?」といった状況にある場合には、まずは図書館にご相談ください。

## ☆図書館を活用しましょう 第10回《番外編—研究をすすめるために2：リサーチリテラシー》

「探究未来学」で身に着ける8つの力（聞く力・情報収集力・読む力・課題発見力・情報整理力・データ分析力・書く力・プレゼンテーション力）とは、研究に必要な力、つまりリサーチリテラシーです。

そもそもリテラシーとは、学習するための基礎力のことで「（聞く）読み、書き、（算盤）」能力のことでした。しかし社会では「問題も答えも自分で見つけて」いかなくてもなりません。自分で課題を見つけて、自分で解く必要があります。ですから大学では、主体的に問いを設定し、他者とともに探求する力が必要とされています。それがまさにリサーチリテラシー（研究を遂行するために身につけておくべき基礎能力）であり、大学生や社会人として「学習するための基礎力」なのです。そのため、高校卒業までに本当は情報を丸暗記するより、確かな情報の調べ方を身に付けることが求められているのです。

探究活動とは、大きくくると **インプット**⇒**思考・判断**⇒**アウトプット** のスパイラル（らせん形状）な繰り返しによって課題を深化したり、広がらせたりする行為です。

このことをリサーチリテラシーの8つの力に当てはめると次のようになります。

**インプット**（聞く力（・課題発見力）・情報収集力・読む力）

**思考・判断**（課題発見力・情報整理力（・読む力）・データ分析力）

**アウトプット**（書く力・プレゼンテーション力）

8つの力を少し説明しますと「**聞く力**」：講義を聞き、内容を理解する能力、「**課題発見力**」：課題を発見し、問いを立てる能力、「**情報収集力**」：情報や文献を検索し、収集する能力、「**情報整理力**」：入手した情報の整理と管理をする能力、「**読む力**」：問題提起・結論・理由といった文章の構造を意識しながら文献を読む能力、「**データ分析力**」：事実やデータを正しく読み解く能力、「**書く力**」：文章の構造を意識しながら執筆する能力、「**プレゼンテーション力**」：自分の考えを他者にわかりやすく伝える能力ということになります。

この中で図書館と大きく関わるのは言うまでもなく**インプット**の部分「**情報収集力**」です。これまで「図書館を活用しましょう」の中で紹介した、第1回《分類法則》、第4、5回《蔵書検索システムの活用、レファレンスのプロ、司書を活用する、ネットとの併用》などが参考になると思います。**集めた資料をもとに課題を発見し、資料を分析して自分の考え（論）を展開してどうまとめていくかが大事です。**

また、「**課題発見力**」「**情報整理力**」といった点では、第8回ぶらぶらブラウジング、自分専用の本棚をもつ、第7回ビジュアル本、レファレンスコーナー〈「**ジ典コーナー**」〉の活用などが関わってきます。

この8つの力を伸ばすことについて、他にキーワードとして、「**思考・判断**」では、第3回《クリティカルシンキング・ロジカルシンキング》、「**アウトプット**」では、第6回《パラグラフライティング》を挙げておきました。リサーチリテラシーの観点から再読してみたいかがでしょう。

◎参考図書として図書館にある本を紹介します。

・大学生のためのリサーチリテラシー入門～研究のための8つの力：377ヤ

☆ 紹介できませんでしたが**参照文献**（引用文献、参考文献）の扱い方は重要です。

⇒常に読んだ本の書誌データは**データベース化するか記録はしておきましょう。**

・レポート・論文作成のために - 引用・参考文献の書き方：816フ

・この1冊できちんと書ける - 論文・レポートの基本：816イ

・これから研究を始める高校生と指導教員のために

- 研究の進め方・論文の書き方・口頭とポスター発表の仕方：375サ

☆ **研究を進めるうえで重要なのはプレゼンを含めたディスカッション（討論）です。**

・学びの技～14歳からの探究・論文・プレゼンテーション：002コ

・大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法：002マ

※ このほかにも、**参考になる資料をたくさん揃えていますし、今後も増やしていきます。ここに挙げた本だけでなく、分類番号（請求番号）を参考にして本を探して利用してください。**